

ヘッドフォン王国

2015 No.3 - JAPAN



### ヘッドフォン ADL H128

O.P.(実勢価格 4万1千円前後)

●型式:密閉型●ユニット:ダイナミック型 40mm●周波数特性:20Hz~20kHz●インピーダンス:68Ω●プラグ形状:ステレオミニ●ケーブル長:1.3m片出し●質量:280g●備考:付属の1.3mのケーブル iHP-35X 1.3m(¥7,600)と標準フォン変換アダプター F63-S(G)(¥1,800)は単体でも発売している。他に3m標準ケーブル、キャリングケースが付属●発売時期:2014年12月

☎フルテック(株) ☎03(5437)0281

## 遠近感や距離感を立体的に表現する リスニングに集中できるヘッドフォン

Text = 小原由夫

ADL(アルファ・デザイン・ラボ)は、ケーブル/アクセサリ・メーカーのフルテックが擁するブランドで、ヘッドフォン周辺では、ポータブルアンプやイヤフォンなどをリリースしている。今回発売されたH128は、既発のヘッドフォンH118の上位機種に当たる。

H118に対する本機の開発コンセプトは、より上質なサウンドの獲得で、具体的には、昨今のハイレゾ音源の特徴がしっかりと把握できる、高分解能かつワイドレンジな性能だ。

一番の特徴は、イヤークップの形状にある。H118にも採用されていた密閉型のそれは、『Alphaトリフォーム・イヤークップ』と命名されており、ギリシャ文字の「アルファ」を模している。この形が耳をすっぽりと覆い、隙間をなくしてダイレクトな音を再現するのに一役買っているのだ。

通常の丸型イヤークップでは、耳とドライバー間の内部

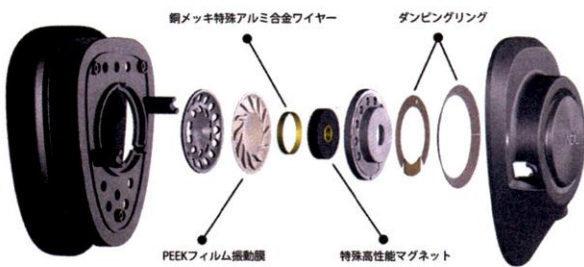
で隙間が多くなるが、『Alphaトリフォーム・イヤークップ』は、耳の外形ラインに沿ってデザインされており、包み込むようなフィット感が得られている。その形状は、H118から見直されており、より多くの人の耳に合いやすくなっている点も見逃せない。

搭載されたダイナミック型ドライバーは、PEEK(ポリエーテルエーテルケトン)フィルム素材を振動膜に採用した40mm口径。折り目形状を吟味することで、音質に磨きをかけている。さらに特殊高性能マグネットや、銅コーティング特殊アルミ合金ワイヤーを用いたボイスコイルの採用などにより、パワフルかつ高分解能なサウンドが期待できる。

コードは着脱式。しかも、標準の3mに加え、同ブランドで市販しているiHP-35X(1.3m)が付属する。変換プラグも、α-燐青銅および銅合金採用ロジウムメッキが



カラーは3色。左ページのブラウンの他にブラックとネイビーがあり、好みに応じて選べる



ドライバーの構造図。振動板に PEEK (ポリエーテルエーテルケトン) フィルム素材を振動膜に採用した。コイルと振動板との間のリングは、波動が互いに干渉し合う局面でも高い周波数を維持する

施された F63-S(G) が添付される。キャリングケースはやや大きめのおむすび型で、ケーブル類もきれいに収納できる。

ヘッドフォンの外装はブラック、ブラウン、ネイビーの3色が用意されている。

側圧はやや強めだが、窮屈さを感じるほどではなく、前記のカップ形状も相まって、フィット感がすこぶるいい。アルミヘッドバンドも、柔らかなクッション材の採用で頭頂部に圧迫感を感じることもない。

第一印象は、ひじょうに豊かな立体感が醸し出されていること。耳をすっぽりと覆うダイレクトな再現力という、直接音の強い、“近い音”をイメージするかもしれないが、H128 はむしろ逆であり、ドライバーと耳との密着性が高いからこそ、それぞれの音楽ソースが持っている本来の遠近感や距離感が明瞭に実感できるものと私は思う。すなわち、ミュージック・リスニングに集中できるヘッドフォンということができる。

また、得意な音楽ジャンルといった限定されたキャラクターはなく、ヴァーサタイルにどんな音楽でも高い満足度

## 一緒に聴いた機器

### USB DAC 付ポータブルヘッドフォンアンプ ADL A1

¥49,800



●実効出力: 70mW + 70mW (12 Ω)、80mW + 80mW (16 Ω)、65mW + 65mW (32 Ω)、38mW + 38mW (56 Ω)、9mW + 9mW (300 Ω) ●対応サンプリング周波数/ビットレート: DSD・~5.6MHz、PCM・~192kHz / 24 ビット ●接続端子: デジタル入力 (USB [マイクロ B、タイプ A]、光)、アナログ入力 (ステレオミニ)、デジタル出力 (光・アナログ出力と兼用) アナログ出力 (ステレオミニ・光出力と兼用)、ヘッドフォン出力 (ステレオミニ) ●バッテリー使用時間: 約 7 ~ 7.5 時間 ●寸法/質量: W68×H16.5×D118mm / 150g

㊟フルテック (株) ☎ 03 (5437) 0281

で楽しませてくれるという印象を持った。前述したように、立体的でスケール感が豊かなので、クラシックも存分に楽しめる。良質な録音の女性ヴォーカルでは、あたかも耳元で歌っているかのような生々しい息遣いと潤いを感じることができるだろう。ロックやジャズも、パワフルなシャウトやタイトなビートをきっちりと伝えてくれる。ハイレゾ音源に関しては、楽器の微細なニュアンスや、録音現場のプレゼンス感などをストレートに再現してくれる。

ADL のポータブルアンプ A1 も併用してみた。Android 端末とのデジタル接続が可能で、DSD、192kHz / 24 ビットのハイレゾ音源に対応。USB DAC としても使える優れたモデルだ。H128 の素直な帯域バランスがそのまま活かされ、スムーズで瑞々しいサウンドが楽しめた。また、A1 が有する高分解能も実感でき、ハイレゾ音源ならではのディテイル描写力の高さも伝わった。

ADL の H128 は、どんなシーンにおいても音楽に集中したいという意識の高いヘッドフォン愛好家にお薦めしたいモデルだ。